

<b>1 学校教育目標</b>	<b>2 本年度の重点目標</b>
「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成	①自ら学ぶ子どもの育成 ②「思いやりの心」をもつ子どもの育成 ③たくましい心と体をもつ子どもの育成 ④進んで読書をする子どもの育成 ⑤郷土を愛する子どもの育成 ⑥チームワークを大切にする職員集団



**3 目標・評価**

**(1) 家庭・地域に信頼される開かれた学校づくり**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分 掌(部)	担当者
学校運営	○教職員の資質の向上	授業改善による授業力の向上 一人一人を大切にする学級経営の実践	・校内研究の取組を踏まえ、「学力向上アクションプラン」に即した授業づくりに努める。 ・「先生は自分のこと(子どものこと)を分かってくれている」と思う児童や保護者の割合を85%以上にする。	・授業研究会と月に1回以上の校内研究会もち、PDCAサイクルを生かした研究にする。 ・Q-Uを実施し、その結果を分析し、学級づくりに生かす。	教務部	島津
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	業務の効率化、業務内容の平準化	・時間外勤務時間が45時間を超えないようにする。(業務記録票)	・会議時間の短縮のため協議事項を明確に示した資料を作成する。 ・定時退勤日の実施を80%以上にする。 ・相互補完的な体制づくり、互いに声をかけ合う人間関係づくり ・「効果・効率・時間短縮」を念頭に置いた職務遂行の推進		
	○開かれた学校づくり	保護者との信頼確立 地域との信頼確立	・学校からの積極的な情報発信を行う。 ・「切木デー(テレビ・ノーゲーム、家談推進)」を実施し、実施率80%以上を目指す。 ・地域と関わる活動を全学年行い、アンケートで「切木の下よさに気づいた」という回答を80パーセント以上にする。	・学校から各種便りを定期的に発行し児童の様子を伝える。 ・機会あるごとに「切木デー」の積極的な呼び掛けを行う。 ・「家談」の本やバックを準備しリレー家談をする。 ・地域人材を活用した学校行事・学年行事を開催する。	教務部 総務部	島津 教頭

**(2) 自ら進んで生き生きと学ぶ児童の育成**

教育活動	●学力の向上	授業規律と学習の進め方の工夫 「わかる・できる・楽しい」授業づくり	・「対話力」を培う言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の向上に努めていく。 ・「授業がよくわかる」と答える児童や保護者の割合を85%以上にする。	・自分の考えを分かりやすく伝えることのできる話し手と、聞いた後に感想や意見を返せる聞き手を育てる活動を多く取り入れる。 ・本時の「めあて」を示し、本時の「まとめ」をきちんと板書した上で「ふりかえり」を行う。	研究部	鶴田
		家庭との連携による指導の工夫	・基礎学力テスト90%以上の正答率を目指す。 ・3つの「そろえる」の指導を徹底し達成率を80%以上にする。 ①筆箱に先のとがった鉛筆5本、②宿題、③名前札	・長期休業に基礎学力をつける家庭学習用課題を配布する。 ・全校朝会や児童集会等の際に3つの「そろえる」を指導する。また、定期的に調査を実施し、ほめる資料にする。	教務部	島津

**(3) 思いやりの心をもつ児童の育成**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分 掌(部)	担当者
教育活動	●心の教育	心の教育の推進	・ボランティア活動の理解と浸透を行う。 ・思いやりの心や協力することの大切さに気付かせるため、異年齢での関わりを多くする。 ・「温かな心、言葉、行動」を奨励し実践できるようにする。	・町の清掃、施設訪問、栽培活動を行う。 ・縦割り班活動や体験活動を通して「心の教育」を行う。 ・全校朝会等で思いやりのある言動ができた児童を紹介する。	特活部	濱井 鳥越 諸岡
	●いじめの問題への対応	いじめを許さない風土づくり	・日々の児童の様子を観察し、小さな変化も見逃さないよう、複数の目で児童を観察する体制づくりに努める。 ・「いじめ」のない学級・学校となるよう努力していると答えた児童の割合を90%以上にする。	・家庭・地域と学校、また学校内の情報交換を密にする。 ・学期ごとにいじめに関するアンケートを実施する。	生活部	松尾 徳永
	●志を高める教育	夢や目標に向かい努力しようとする気持ちを育む教育活動の推進	・夢や目標に向かって取り組む児童が80%以上になることを目指す。	・1年間の目標を全児童が目にするところに掲示し、児童同士や教師が意識して生活できるようにする。 ・全教育活動において「なりたい自分になる」ためのキャリア教育を意識して取り組んでいく。	特活部 教務	濱井 島津
	○生活指導の充実	生活指導の充実	・学校生活のきまりが守れたと回答する児童が80%以上になることを目指す。 ・トイレのスリッパそろえができた児童80%以上を目指す。 ・明るく元気に挨拶、返事ができるを90%以上にする。	・全職員で再確認し、徹底した指導を行う。 ・学校生活状況に関する定期的な情報交換を行う。 ・トイレのスリッパの整備状況を定期的に点検し、結果を児童に示す。 ・日頃か、気持ちのよい挨拶や返事の大切さを指導する。	生活部	松尾

**(4) 健康でたくましい児童の育成**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分 掌(部)	担当者
教育活動	●健康・体づくり	望ましい生活習慣の形成	・「早寝・早起き・朝ごはん」の実施率90%以上を目指す。 ・夜の歯みがき実施率90%以上を目指す。	・「切木デー」に毎月振り返りを行う。 ・「歯みがきカレンダー」に月に1回記録させる。	保体部	前川 中島
		運動習慣の定着	・晴れの日の昼休みの外遊びを奨励し、実施率80%以上を目指す。 ・進んでスポーツに親しむ児童の割合を80%以上にする。	・晴れた日は教師が外遊びを奨励する。 ・学期に1回、スポーツチャレンジ週間を設定し学年に応じた体力向上を図る。		

●は共通評価項目、○は独自評価項目、◎は特定課題